

エール管弦楽団

2015年結成。現在は東京藝大、桐朋学園大、東京音大、国立音大、洗足学園大、武蔵野音大など、首都圏で音楽を学ぶ学生を中心に構成される。「エール(aile)」とはフランス語で「翼」。音楽家を目指す者たちがここから未来へ羽ばたく。2017年より早稲田大学ビジネススクール川上智子教授のゼミと共同研究プロジェクト「クラシカエール(暮らし・変える)」を開始。国内外の大学や企業と連携し、五感やテクノロジーを組み合わせた「見たことのないクラシック音楽」を通じて、より多くの人々を幸せにすることを目指している。

プログラム

第一部

はらかなこ作曲「超絶ジャポニズム」

エール名物オーケストラによる「超絶技巧」今回のテーマは日本民謡。どこか郷愁を感じる日本民謡を主題としてオーケストラの全ての楽器が限界ギリギリの超絶技巧に挑戦します。

作曲家 はらかなこからのメッセージ

「日本民謡」を、どうオーケストラで表現するか考えるのはとても楽しかったです。
日本人に流れる血、燃えたぎる熱気をお伝えできたら嬉しいです。

Alva作曲「エールのためのシンフォニー#3 宙(そら)」

世界で初めてフランスの著作権団体に「作曲家」として登録されたルクセンブルク生まれの人工知能・Alva(エイヴァ)。新型コロナで延期開催となった2020年8月に「エールのためのシンフォニー」2曲を世界初演で披露し、大好評を収めました。そのAlvaが、今度は宇宙をテーマにオリジナル曲を提供。AIと宇宙の融合です。

ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界より」2楽章

シベリウス 交響詩フィンランディア

ドヴォルザークはチェコ出身の作曲家。「新世界」とは当時滞在していたアメリカのことです。黒人靈歌に故郷の音楽を重ねて作曲されました。「遠き山に日は落ち」としてもよく知られています。シベリウスはフィンランド出身の作曲家です。当時フィンランドはロシアの圧政に苦しめられていました。フィンランディアは国を憂い、愛する気持ちが込められた曲。フィンランドの第2の国歌ともいわれています。故郷への想いに満ちた名曲で、皆様を郷愁の空へといざないます。

鈴坂圭司(指揮)

現役のテレビマン。30代半ばにして長年の夢だった指揮者を志し、ロシアへ、桐朋学園大学で黒岩英臣氏に師事。「サラリーマン指揮者」の道へ、高間健氏、下野竜也氏の指導を受けたほか、山田和樹氏の指揮講習会では成績優秀者として横浜シンフォニエッタを指揮。現在エール管弦楽団のほか、小学校のPTA活動で結成された親子オーケストラ・音羽の森オーケストラ・ボコアボコの指揮者をつとめる。また漫画家しりあがり寿氏主宰のロックフェスに出演するなど幅広く活動中。鹿児島出身。

はらかなこ(作曲)

サウンドプロデューサー、ピアニスト、作曲家。4歳からピアノを始める。桐朋学園大学ピアノ科卒業。大学卒業後ピアニストとしての演奏活動を始め、オリジナル作曲にも取り組む。SMAP、いきものがかりなどのライブやレコードイングに参加し、ミュージカルや舞台などの音楽も担当。劇場版「名探偵コナン」劇伴アシスタントプロデューサー。読売テレビ「情報ライブ」ミヤネ屋のテーマ曲を担当。東京出身。

かわいじゅんこ(プラネタリウム・プランナー)

宙(そら)の学校校長。日本で唯一のプラネタリウム・プランナー。移動式プラネタリウムや天文に関するワークショップをショッピングモールや水族館などで開催。星空を見上げる楽しさを広げる活動をしている。石垣島へ行く星空ツアーを始め、「星とワインの会」「月と日本酒の会」「宙と本」「星ヨガ」他を開催。湘南ビーチFM『星空リビング』(毎週金曜11:30)パーソナリティ、元祖・宙(そら)ガール。福岡出身。

穴井祐樹(空間演出)

non-classic株式会社代表。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科在籍時にチームラボ株式会社にてプロダクト開発チームの立ち上げに携わる。独立後は拠点を九州に移して起業。独自のセンサ技術やLED等の最新テクノロジーを活用したインタラクティブな空間・体験の創出を得意とする。九州最大規模の駅前広場を有する「おおいた光のファンタジー」の総合監修他、大規模空間演出の実績多数。大分出身。

林木裕行(光の演出)

株式会社リベラ代表。自身の結婚式で行ったオリジナルの光の演出がきっかけとなり創業。無線通信技術でLEDの光をコントロールする新しい空間演出を結婚式等に導入中。筑波大学大学院時代は銀河の研究をしながら、病院や学校・フリースクールにてケアや教育と宇宙コンテンツの融合を実践。千葉出身。

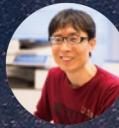
川上智子(プロデューサー)

早稲田大学大学院経営管理研究科(ビジネススクール)教授。マーケティング国際研究所所長。ブルー・オーシャン・シフト理論をクラシック音楽の新市場創造に適用し、実践を通じた新たな理論構築に取り組んでいる。2017年にはアジア・マーケティング学者トップ100に選出。12年間ピアノを習い、高校時代は浦和第一女で全国コンクールに出場。福岡出身。



橋森ゆう希(コンサートミストレス)

11歳でドイツ・ケルン音楽大学に最年少特待生として入学。ザハール・ブロン氏に師事。TV「新・題名のない音楽会」等で特集される。全日本学生音楽コンクールなど数々のコンクールで優勝。ソリストとして東京交響楽団を始め国内外のオーケストラと共に演奏。2014年CDデビュー。コンサートの収益でアフリカに学校を建設するなど音楽を通じた国際交流も積極的に行う。埼玉出身。



橋口俊貴(脚本家)

脚本家。2002年、大学在学中にフジテレビピラミッド賞受賞。以降、テレビやネットドラマ特にコメディー作品に携わる。今回初めて映像以外の作品に参加。長崎出身。



オグランド(謎解きプロデューサー)

ボードゲームデザイナー。1,000個以上のボードゲームを所有し、ボードゲーム紹介ブログ「あそびつながるラボ」、ボードゲームイベント「あそびつながるカフェ」を開催。代表作にArcs & 日本科学未来館の北極ボードゲーム『The Arctic』、DokyoGamesの「にんにんにんじや」「私が水着に着替ったら、東京ゲームマイカースの『ドラゴンダンシッシュ』『エレンタルトルランクマン』他。自称ボードゲーム大使。千葉出身。



小栗太(謎解き劇作家)

株式会社オールスマイルズ代表取締役社長。大和建設、港区児童館職員を経て2011年イベント会社東京ボウズを起業。2015日本橋にカフェを展開。2017年株式会社オールスマイルズと社名を変更し業務の幅を広げる。チームオールスマイルズの謡を全て監修。座右の銘「できない理由を探すな」。愛媛出身。



コシノジュンコ(衣装協力)

1978年から22年間ハリウッドレクレーション参加。以降、北京、NY(メトロポリタン美術館)、ペトナム、キューバ、ボーランド、ミャンマー、ロシア、スペインなど世界でショーを開催。国際的な文化交流に力を入れる。オペラ「魔笛」や「蝶々夫人」、プロドウエイミュージカル「太平洋序曲」(ニー賞ノミネート)、DRUM TAOの舞台衣装、スポーツユニフォーム、花火のデザイナ、JOCセカンドエンブレム等を手掛ける他、国内被災地への復興支援活動も行っている。VISIT JAPAN大使、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育委員、文化功労者。毎週日曜17時~TBSラジオ「コシノジュンコMASACA」放送中。



コシノジュンコさん制作の衣装との
コラボレーションにもご注目ください♪